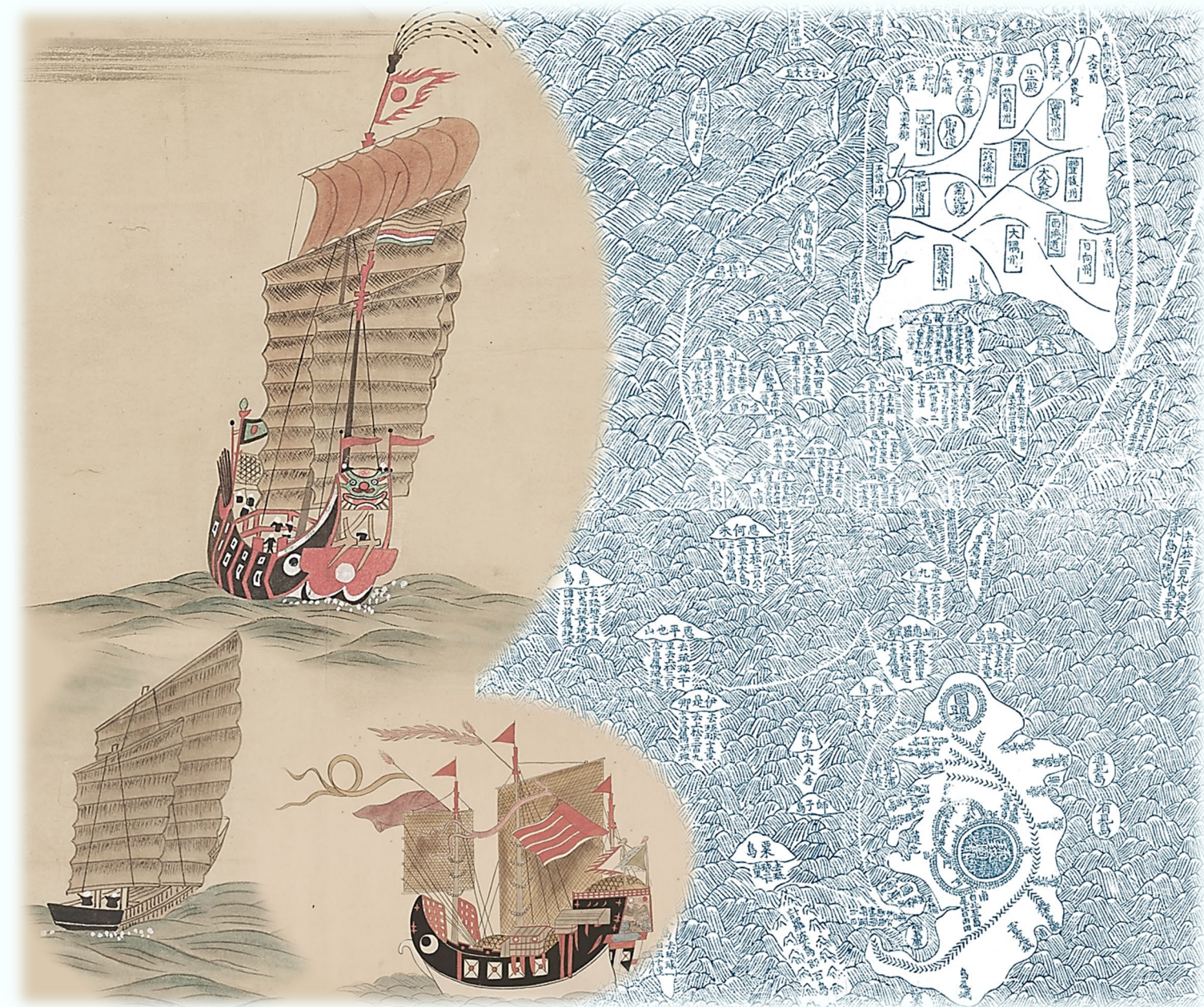




国際シンポジウム 琉球をめぐる海上の道と絵図

International Symposium: Maritime Routes and Cartography around the Ryukyu Kingdom in East Asia

2026 年 8 月 29 日(土)12:30 開場、13:00 開始 (終了 17:00 予定)

絵図に描かれた海の世界から、琉球と東アジアを結んだ交流の歴史を探る国際シンポジウムです。

参加費：無 料 ※事前申し込み不要(先着順)

会 場：沖縄県立博物館・美術館 3階 講堂

【関連企画展】沖縄県立博物館・美術館では、8月7日(金)から9月23日(水)まで、企画展「時を超えて過去から未来へ—東京大学史料編纂所と琉球の記録・絵図—」を開催中です。詳しい開館日・入館料などは同館ウェブサイトにてご確認ください。

主催：科学研究費補助金「大型絵図類のデータ構造化と関連史料の連携による南西諸島「海上の道」の復元的研究」(基盤研究(A)JSPS23H00012、研究代表者：黒嶋敏)

共催：琉球沖縄歴史学会

プログラム

- 13:00~13:35 黒嶋 敏 (東京大学史料編纂所)
「琉球をめぐる海上の道と絵図」
- 13:35~14:10 劉 序楓 (台湾・中央研究院)
「近世長崎貿易における唐船の航路について」(仮
(休 憩))
- 14:20~14:55 高橋 公明 (東洋文庫)
「『海東諸国紀』附図のなかの境界表現」
- 14:55~15:30 松尾 晋一 (長崎県立大学)
「貞享4年(1687)琉球勝連への異国船漂着」(仮)
- 15:30~16:05 沈 玉慧 (台湾・国立中興大学)
「地図からみた朝鮮王朝後期の琉球認識」(仮
(休 憩))
- 16:15~17:00 討 論

科研費
KAKENHI

図版は東京大学史料編纂所蔵「海東諸国紀」
「異国船図」「冠船之図」より(部分、一部改変)